

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 2 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		夕なぎの家では、2か月に1度全員で外出を行っているが、いつでも個人の行きたい所に出かけて行く支援を25年度の目標とした。しかし夏・冬共厳しい天候で、2名しか達成出来なかった。	一人ひとりの行きたい所にいつでも行ける支援を、26年度も引き続き行う。	ご家族の意見や本人の思いの表出から、具体的に自立度や、出来る力を考慮して、職員2名で支援を行う。	12ヶ月
2		入居者が認知症の為、とんち話やおもしろい話をして、笑わなくなった為、笑顔を引き出す支援を取組とした。	1回でも多く弾ける様な笑顔が見られるよう、心から笑ってもらえる様なケアをする。	運営推進委員会で助言頂いた笑いヨガ講座の先生を招く。職員がいつも笑顔でいる。作り笑顔もよいとする。一番良い笑顔が出た時は、記録や写真に残す。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。